

【ご意見とその対応】

番号	箇所 (頁数、項目等)	内容	対応
1	5-3 持続可能な社会 づくりの担い手 の育成について	次世代のリーダー育成や子供たちへの環境意識は、極めて重要だとおもいますので、このテーマのより積極的な推進を期待します。 他地域行政での実施例や、環境省の事例等を参考にして、多角的・多様な取り組みを推進されることを要望いたします。 他の項目については、大変よくまとめられていると思います。	貴重なご意見をありがとうございます。 次世代への環境教育は重要な取組であると認識しております。現在、地域素材を活用した環境学習動画の整備など、学校現場で継続的に活用できる仕組みづくりを進めております。 今後も他自治体や環境省の事例を参考にしながら、関係部局と連携し、取組の充実に努めてまいります。
2	進捗指標一覧表	把握年度から後退しているが「やや遅延」と判定されているもの(例:No. 5, 7)がある一方、把握年度から改善しているが「遅延」と判定しているもの(No. 31, 32)があり、「遅延」と「やや遅延」の判定基準がわかりにくく感じました。 No. 31であれば、2024年度(単年度)の実績が0なので判定したなどの理由があると思いますが、特記事項で判定理由がわかるように記すとよいと感じました。	進捗状況の評価は、関連する施策の実施状況などを踏まえた上で担当課により判断しております。 ご指摘いただいたとおり、指標によって評価の基準が異なっているため、次年度以降は評価の理由についても記載することといたします。
3	資料1 2ページ 成果指標の実績	現状:「令和6年度は、多くの指標で……目標年度の達成に向けて引き続き取組を進めてまいります」 修正提案:「一部の成果指標(温室効果ガス等)に課題があるため、目標達成に向けた施策の費用対効果を再検証し、取組を強化します」 提案理由:「順調」という総括に対し、実数値(温室効果ガス排出量など)との乖離があるため、課題を明文化すべきです。	温室効果ガス排出量については順調に削減が進んでいる一方、現状のペースでは目標の達成が難しい状況です。 提案いただいた内容につきましては、次年度(令和7年度)報告の際の参考とさせていただきます。

4	資料1 4ページ 進捗指標及び主要施策の実績	現状:「指標と施策がリンクしていない可能性があります」 修正提案:「施策の実施(プロセス)は順調ですが、成果(進捗指標)への寄与が低いため、施策の有効性を精査します」 提案理由:「可能性」という曖昧な表現を避け、PDCAサイクルにおける「C(評価)」の視点を明確にします。	曖昧な表現により、今後の対応方針が明確になっておりませんでした。 提案いただいた内容につきましては、次年度(令和7年度)報告の際の参考とさせていただきます。
5	資料1 5ページ 基本目標別進捗指標の実績	現状:「施策内容の見直しが必要です」 修正提案:「目標1(自然保全)および目標4(脱炭素)については、遅延要因を特定し、次期計画に反映する抜本的見直しを行います」 提案理由:どの目標が特に深刻(半数超が遅延)であるかを強調し、具体的なアクション(次期計画への反映)を提示します。	曖昧な表現により、今後の対応方針が明確になっておりませんでした。 提案いただいた内容につきましては、次年度(令和7年度)報告の際の参考とさせていただきます。
6	進捗指標一覧表 1ページ 目標1-2:担い手経営体の数	現状:「264経営体(目標283に対しやや遅延)」 修正提案:「農業の担い手数は微増(前年比+9)したが、目標値との乖離を埋めるための新規就農支援を拡充する」 提案理由:単なる「やや遅延」という評価だけでなく、実数としての増加傾向と、不足分の補填策に言及すべきです。	やや遅延している現状に対し、今後の対応方針が明確になっておりませんでした。 次年度(令和7年度)報告から今後の対応方針について記載することといたします。
7	進捗指標一覧表 2ページ 目標2-2:監視	現状:「突発的・緊急的な要件に対応するため計画的な立入……が実施できず」 修正提案:「緊急対応の優先により計画件数を下回ったため、効率的な巡回ルートの策定や人員配置の最適化を検討する」 提案理由:「実施できなかった」という理由に留まらず、今後の業務効率化やリカバリー案を示すことで前向きな報告になります。	遅延している現状に対し、今後の対応方針が明確になっておりませんでした。 次年度(令和7年度)報告から今後の対応方針について記載することといたします。

8	進捗指標一覧表 4ページ 目標4-2：省エネ 診断実施回数	現状：「遅延（2024年度実績7件）」 修正提案：「実施回数が目標に届いていないため、診断後の補助金制度との連携を周知し、利用の動機付けを強化する」 提案理由：診断を受けることのメリット（インセンティブ）をどう提示するか改善策を記載すべきです。	遅延している現状に対し、今後の対応方針が明確になっておりませんでした。 次年度（令和7年度）報告から今後の対応方針について記載することといたします。
9	進捗指標一覧表 5ページ 目標5-3：担い手育成（環境教室）	現状：「遅延（目標30回に対し5回）」 修正提案：「対面型教室の実施が低迷しているため、オンライン教材の提供や学校授業との連携を深め、実施形態を多様化する」 提案理由：目標と実績の差（6分の1）が大きいため、従来のやり方に固執しない代替案の提示が必要です。	遅延している現状に対し、今後の対応方針が明確になっておりませんでした。 次年度（令和7年度）報告から今後の対応方針について記載することといたします。